

平成 29 年度  
岡山市市民協働推進ニーズ調査事業

石山公園パークマネジメント  
運用開始に向けた  
「コンシェルジュ」ニーズ調査

実施報告書

# 目次

01	事業ふりかえり
03	来場者アンケート
05	① 性別
	② 年齢
	③ ご来場の構成
	④ 国籍・人数
	⑤ お住まい
	⑥ 交通手段
06	⑦ 来場のきっかけ
	⑧ 石山公園への来場頻度、及び来場目的
07	⑨ 石山公園と併せて、ついでみ立ち寄りたい場所や立ち寄る予定
08	⑩ 現在、石山公園内にある観光案内表示や看板、 エリアMAPなどの有用性（効果）について
11	⑪ 石山公園周辺に、どのような施設があると良いか
14	⑫ 石山公園周辺施設で、訪れてみて良かった（悪かった）施設、 またその理由
15	⑬ まちあるきを楽しめる時間
	⑭ どんなコンテンツ（店舗、施設、イベントなど）があれば、 時間が気にならずにまち歩きを楽しめるか
17	⑮ 将来的に、石山公園にオープンカフェを常設し、 簡単な観光案内を行うことについて
18	⑯ ボランティアガイドによる案内について
	⑰ 観光客（旅行者）として、どんな情報が得られると良いか
19	⑱ 観光客（旅行者）として、旅行の目的以外で求めるものは
	⑲ 将来的な、理想の石山公園について（どんな場所になると良いか）
23	イベント実施者ヒアリング
25	1) MAEMU 企画
26	2) ストライプインターナショナル
27	3) 株式会社ビザビ
28	4) 公共事業に関わる一個人（行政観光系）
29	5) 公共事業に関わる一個人（民間事業者）
30	意見交換会

事業  
ふりかえり

■ 事業名称 石山公園パークマネジメント運用開始に向けた「コンシェルジュ」ニーズ調査事業

■ 事業目的 岡山市では現在、公園の新たな利活用を促すサービスの開発・導入に向けて、ニーズや課題の洗い出し、ルールや仕組みづくりなどの検討を経て、平成 31 年以降秋に予定される石山公園のリニューアルにおいて、従来の行政主導型ではなく、市民・NPO・企業などとも連携しながら市民の視点に立ち、公園をより魅力的に創り・守り・活用していくというパークマネジメントの考え方を取り入れた公園運営を目指しています。パブリックオープンスペースである公園は、それぞれの公園毎に、それぞれの特色を反映させたパークマネジメントが必要であり、石山公園においては、周辺環境などの立地の特徴から、利用者に対してソフト・ハードの両面から「おもてなし」の視点が必要であり、ホテルやテーマパークにおける「コンシェルジュ」のように、痒いところに手が届くような、満足感を与えられるサービスを提供できる環境を整える必要性を感じています。そのため平成 29 年度のニーズ調査では、「現地を利用する地域住民や観光客」「イベントの実施経験者」「周辺エリアの文化施設」の 3 方向からの生の声を拾うことで、現状の課題をより深く掘り下げて明らかにし、パークマネジメントの仕組みづくりに繋げていくことを目的に実施しました。

■ 調査内容 1) 石山公園での、現地利用者に対する「アンケート」

気になるポイント

- ・来場のきっかけや目的として、目指して訪れる場所ではなく「通り道」になっている (⑦⑧)
- ・周辺施設や食など、「今これから」の回遊につながる「リアルタイム」な地域情報が届いていない (⑨)
- ・訪れた方への案内機能 (外国人観光客に向けた多言語対応やデジタル化など) の不足 (⑩⑪)
- ・現地でしか得られない生の情報を観光客は求めている (⑬⑭)

2) 石山公園でイベントや事業を実施したことのある企業、団体、行政担当者などへの「ヒアリング」

気になるポイント

- ・案内機能の不足
- ・ロケーションの良さを楽しんでもらう工夫

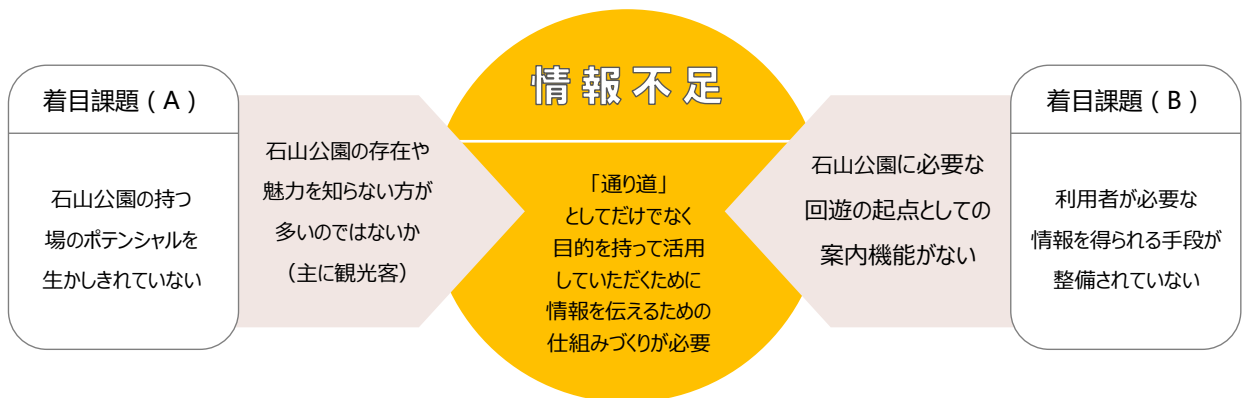
3) 石山公園周辺エリア (カルチャーゾーン) にある文化施設の方との「意見交換会」

気になるポイント

- ・回遊の起点として、周辺の文化施設へ訪れるきっかけづくりや情報発信の仕組みづくり
- ・観光客には、滞在期間中に計画を立てられる短いスパン (今日、明日) での情報が有効

上記の 3 つの調査結果での「気になるポイント」を踏まえ、石山公園を利用される地域の一般市民や観光客 (受益対象者) にとって、公園のリニューアルやパークマネジメント推進を目指すうえで、主に大きく二つの課題に着目しました。

着目課題 (A) : 石山公園の持つ場のポテンシャルを生かきれていない  
 着目課題 (B) : 利用者が必要な情報を得られる手段が整備されていない



上記 (A) (B) の課題を解決する方法として、「情報」の受発信の仕組みづくりが必要である、ということが見えてきました。それらを踏まえて、「情報の発信 (SNS の活用) と収集 (現地での生の声)」という点にポイントを絞り、今まで深掘り出来ていなかった事項について今後も継続して取り組むことで、石山公園の魅力を広め、訪れる人を増やす仕組みづくりを行い「コンシェルジュ」機能を備えたパークマネジメントの確立につなげていくことが必要だと感じました。

# 来場者 アンケート

# 来場者アンケート

石山公園は、後樂園や岡山城、文化施設などの周辺エリアへの観光の玄関口であるとともに、地域の方が日常的に憩い、また、イベント開催の場として活用するなど、「観光」と「地域」というふたつの大きな特色を持ち合わせています。そこで、現地を利用する地域の方や観光客に対して聞き取りアンケートを実施し、どのような機能があれば、更に快適に利用していただける場所になるのかというニーズと課題の収集を行いました。

## \* 観光ボランティアとの連携につて

現在、岡山城や後樂園で実施されている観光案内のノウハウやしきみと連携することで、回遊性の促進や、観光客へのおもてなしにつながる可能性の有無を検証するため、観光ボランティアの方々との合同調査日も設けて実施しました。石山公園での一番のビューポイントでもある、旭川沿いからの岡山城や後樂園の眺望を背景にした撮影スポットで、観光客の撮影のお手伝いなどは非常に喜ばれ、「おもてなし」のサービスとして、今後取り入れられる機能だと感じました。ただ、石山公園という場が、現時点では「通過点」としての側面が強く、利用者からの問い合わせは、観光の目的地や岡山駅への行き方、路面電車の乗り場などのアクセス情報や、食事が出来る場所、周辺文化施設の展示や開館情報などが大半を占めていたため、観光ボランティアの方の持つ知識やサービスを十分に発揮できる場所は、石山公園ではなく、後樂園や岡山城などの観光地であると感じました。今後は、回遊の起点である石山公園での「おもてなし」のサービスとして、後樂園や岡山城では現地ガイドによるプラスアルファの楽しみ方ができるという情報を発信し、ガイドを求める方のニーズに応えられる仕組みをつくることで、相互連携を深めていけると良いと感じました。

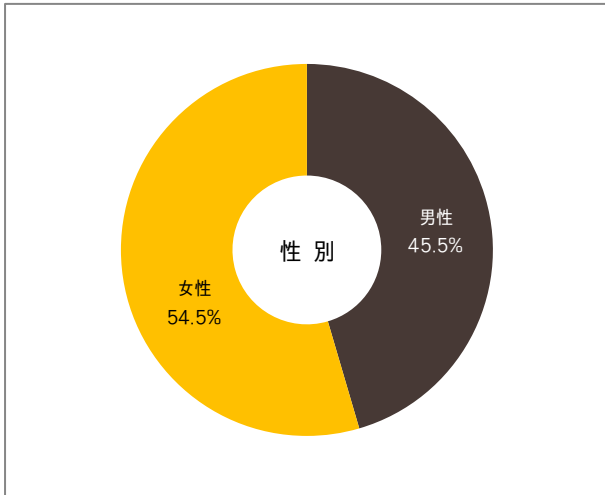
■実施日数：15日 ※内、観光ボランティアと合同実施日 7日（表中の◎の日）

■アンケート数：124件

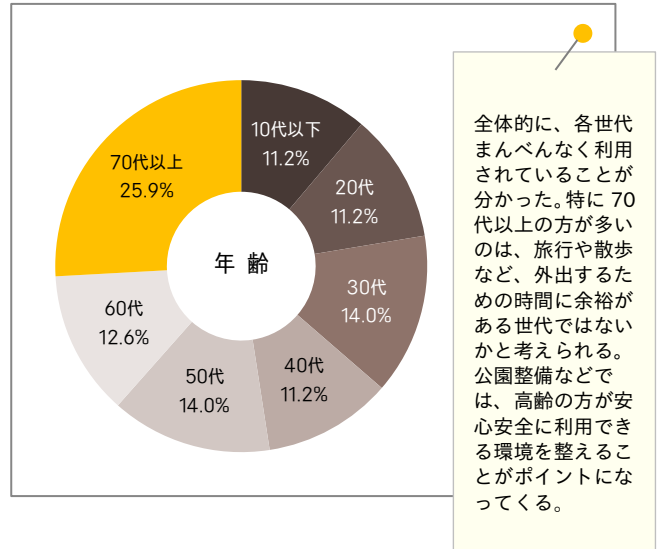
日程		実施時間		天気	来場者数	
		10:00～13:00	13:00～16:00			
9月	18	月	◎		晴れ	未集計
	19	火		○	晴れ	未集計
	25	月	○		晴れ	305
10月	4	水		○	晴れ	241
	12	木	○		曇り	163
	18	水	◎		曇り	369
11月	3	金	○		晴れ	452
	5	日	○		晴れ	1,023
	9	木	○		晴れ	424
	12	日	◎		曇り	767
	15	水	◎		晴れ	191
	17	金	◎		晴れ	298
	18	土		◎	曇り	628
	19	日		◎	晴れ	1,206
	24	金		○	晴れ(強風)	148



### ① 性別

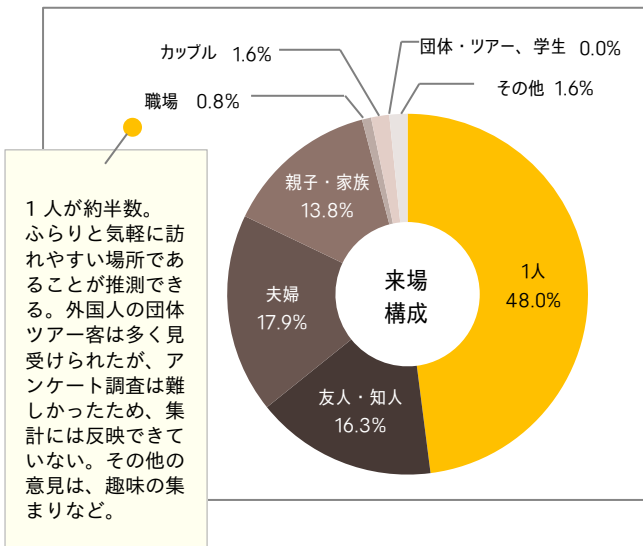


### ② 年齢



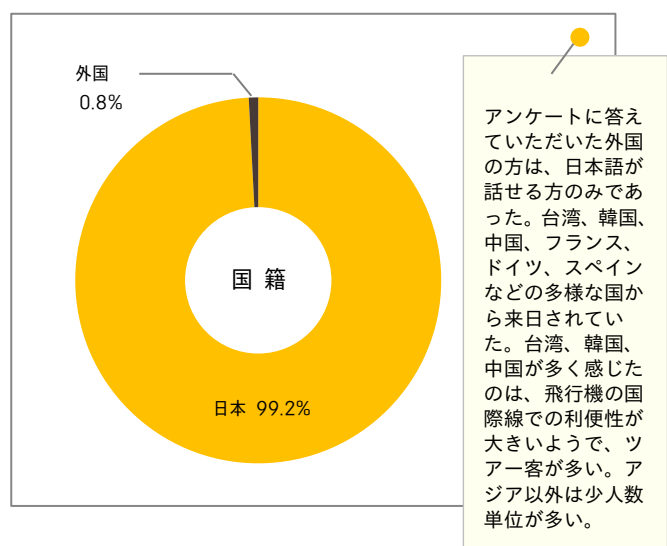
全体的に、各世代まんべんなく利用されていることが分かった。特に70代以上の方が多いのは、旅行や散歩など、外出するための時間に余裕がある世代ではないかと考えられる。公園整備などでは、高齢の方が安心して利用できる環境を整えることがポイントになってくる。

### ③ ご来場の構成



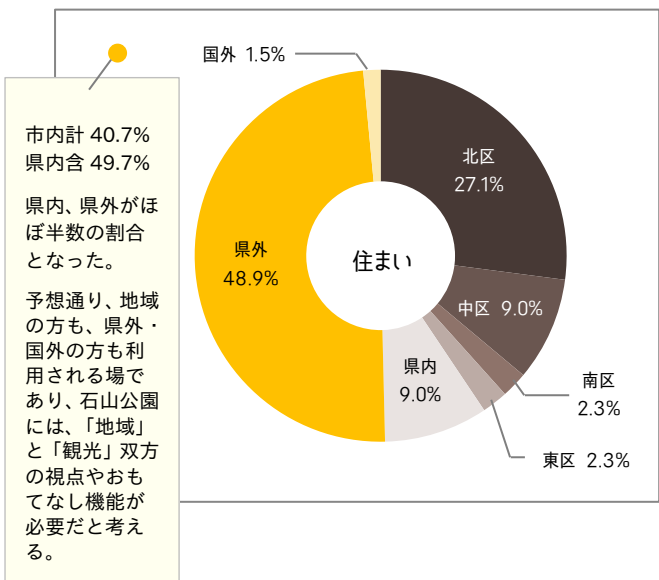
1人が約半数。ふらりと気軽に訪れやすい場所であることが推測できる。外国人の団体ツアー客は多く見受けられたが、アンケート調査は難しかったため、集計には反映できていない。その他の意見は、趣味の集まりなど。

### ④ 国籍



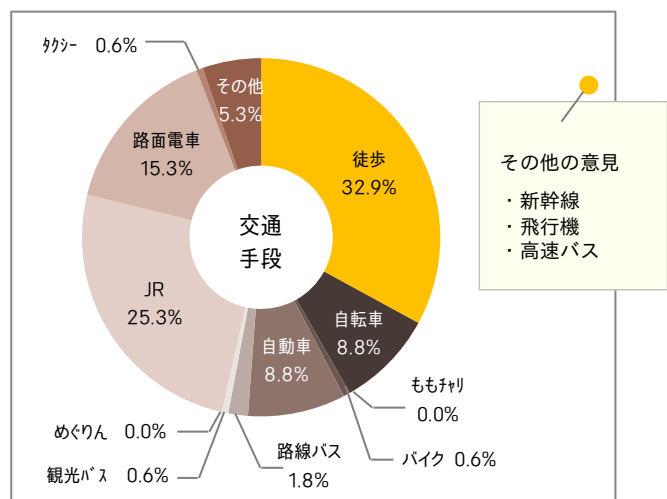
アンケートに答えていただいた外国の方は、日本語が話せる方のみであった。台湾、韓国、中国、フランス、ドイツ、スペインなどの多様な国から来日されていた。台湾、韓国、中国が多く感じたのは、飛行機の国際線での利便性が大きいようで、ツアー客が多い。アジア以外は少人数単位が多い。

### ⑤ お住まい



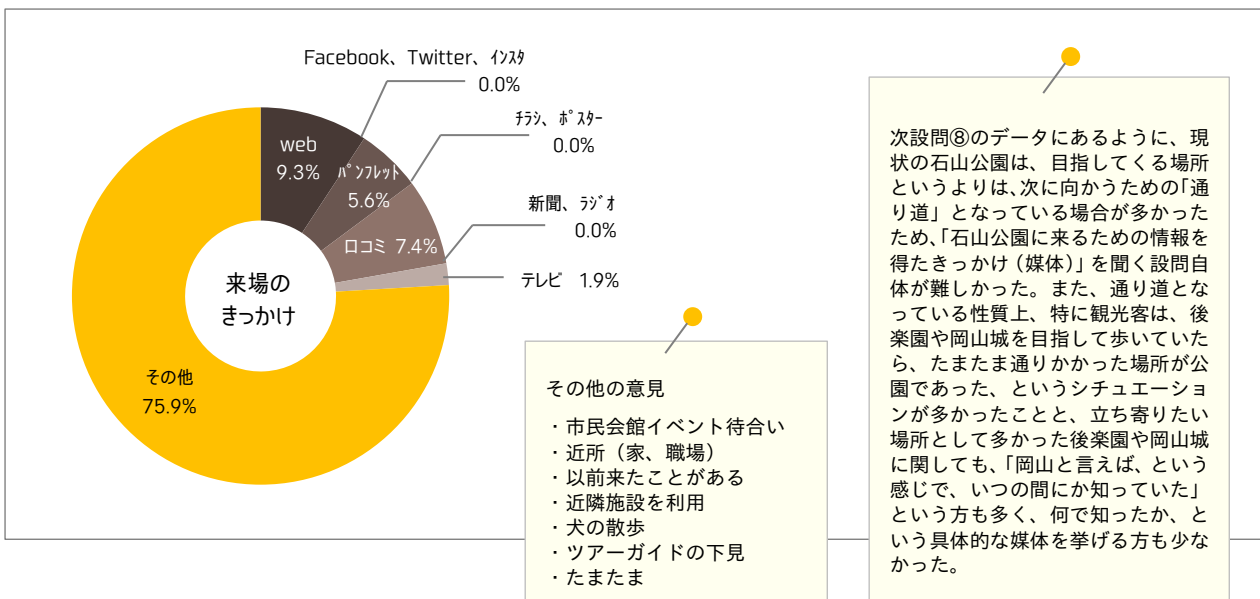
市内計40.7% 県内含49.7% 県内、県外がほぼ半数の割合となった。予想通り、地域の方も、県外・国外の方も利用される場であり、石山公園には、「地域」と「観光」双方の視点やおもてなし機能が必要だと考える。

### ⑥ 交通手段 (複数回答OK)

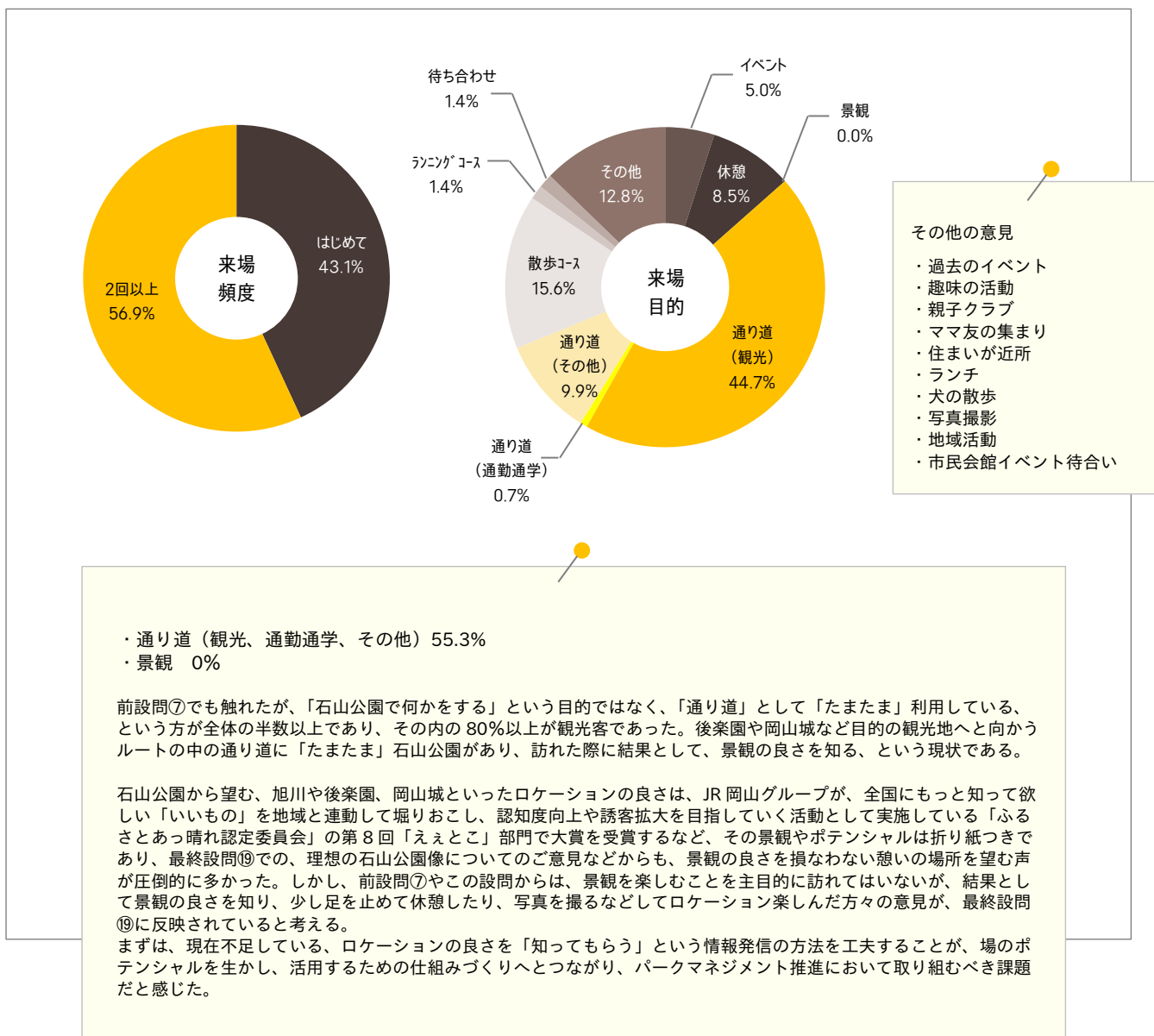


その他の意見  
・新幹線  
・飛行機  
・高速バス

⑦ 来場のきっかけ (複数回答OK)

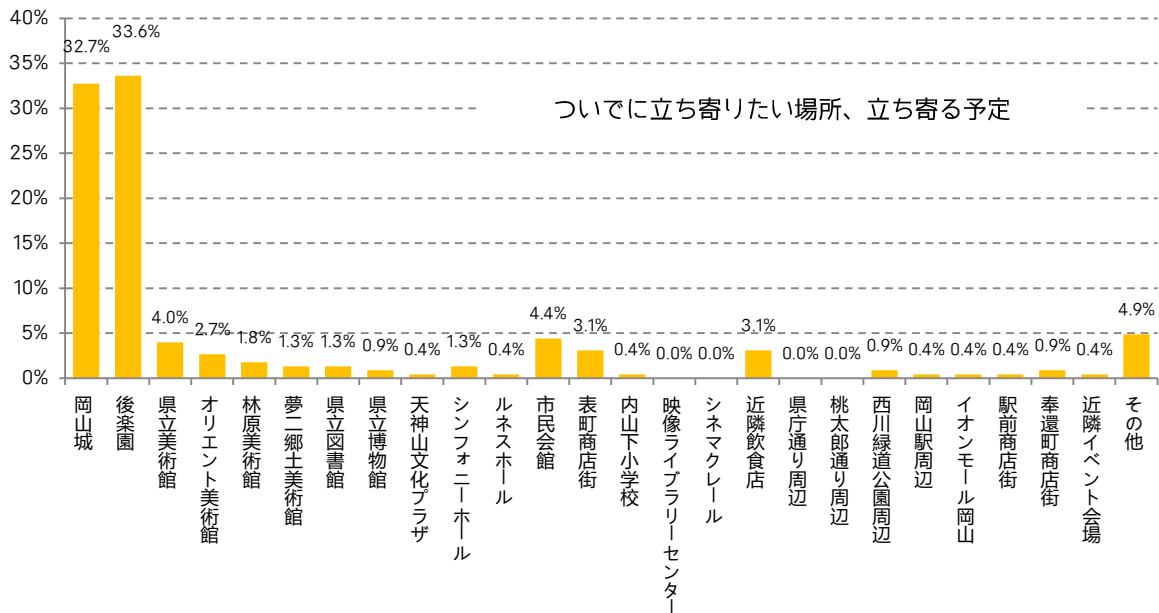


⑧ 石山公園への来場頻度、及び来場目的





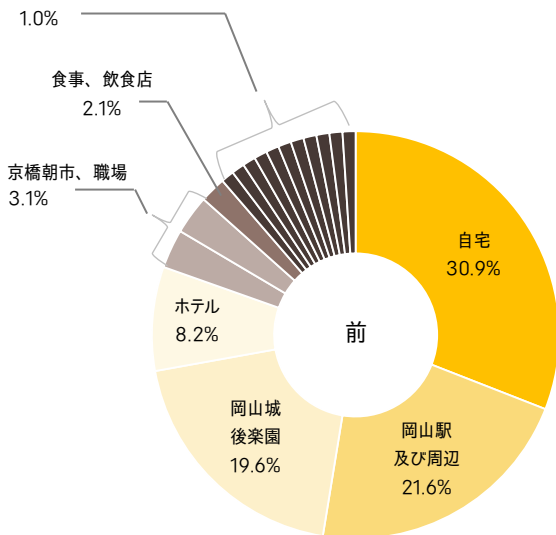
⑨ 石山公園と併せて、ついでに立ち寄りたい場所や立ち寄る予定（複数回答OK）



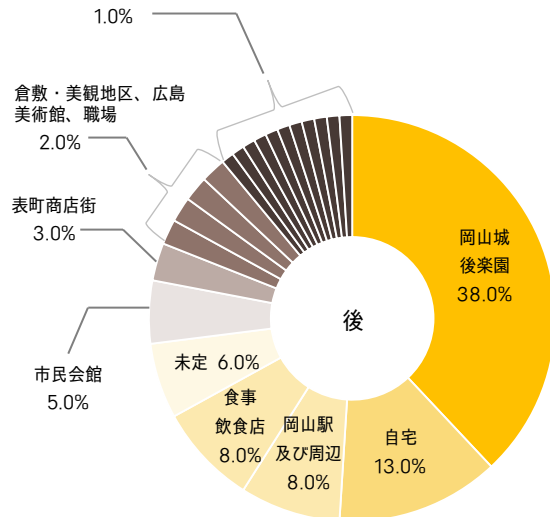
石山公園を「経由」して向かう目的地は、後楽園・岡山城で66.3%を占めた。アンケート調査を実施する際に設置していた案内ブースでは、後楽園や岡山城への行き方や入場料金を聞かれ、そのパンフレットなどを求められる方も多く、日本語版だけでなく多言語のパンフレットが大いに役立った。あわせて、周辺の文化施設の展示情報や開館時間、岡山の地元の情報を探られる方が多かった。特に、観光客に対しての食の情報提供をする際、まとまったパンフレットがなく、分かりやすい地図とあわせて、季節の旬のものや食材などに応じてお勧めできるツールの必要性を感じた。また、市民会館でイベントがある際には、多くの方が石山公園で開場までの時間を過ごされており、ベンチやテイクアウトができる飲み物の提供ができるコンテンツがあると、その待ち時間を快適に過ごしていただけたと感じた。

石山公園に立ち寄る前後のルート

イオン、コンビニ、岡山神社、オリエント美術館、内山下小学校、表町商店街、天満屋、空港、学校、岡山マラソン、スワンポート



県立美術館、シティミュージアム、シンフォニーホール、出石界隈、川、西川緑道公園、両備スポーツ施設、知人に会いに、買い物、天満屋、ホテル



後楽園や岡山城へ行ったあとの情報として、次の目的地へ向かうためのアクセス情報や、岡山駅から来られた方が、次の目的地へ向かうための情報が、回遊の起点となる石山公園に求められる情報であった。また、京橋朝市の後に石山公園を訪れる方などには、双方の場所で同じ日にイベントがあると、それぞれの場所での楽しさを提供することで、水辺のエリアの魅力発信につながる相乗効果と、新たな回遊性を創出する可能性もあるのではないかと感じた。

後楽園や岡山城以外のルートでは、市外（倉敷など）や県外など、近距離の別の目的地へ向かう予定を組んで観光をされる方（2%）と、「未定」（6%）に着目。これらの方は、興味の持てるものに関してはフットワーク良く行動されるのではないかと考え、岡山市内には後楽園や岡山城以外にも、魅力があり楽しめる周辺文化施設、店舗、食、イベントなどがあることを伝えることが重要で、「今日これから」行けるリアルタイムの情報発信の強化により、「今日これから」の計画も立てられるようになり、市内での新たな回遊につなげられる可能性を感じた。

⑩ 現在、石山公園内にある観光案内表示や看板、エリアMAPなどの有用性（効果）について

方向案内表示塔

肯定的な意見

見る
見やすい
いつも見ているので、あまり気にならない
方向を確認する際には役立つ

否定的な意見、及び改善案

見づらい
あまり見ない、ほとんど見ない。
あまり目につかない。気にしていなかった。素通りしていた。
知っているので見ない
気にしてみたことがない。目に入らなかった（地元だから）
知らなかったが、分かりやすくしてほしい
もっと分かりやすく。もう少し目立つ方がよい
分かりにくい。高さ。
方向は分かるが、今の場所は、気づきづらい。
気づかなかった。マップと場所を揃えて欲しい。
気づかない。分かりやすい位置が良い
場所、色の工夫
もう少し低いと良い
もう少し大きく。目的地までの距離、場所が分かりやすく。
木が邪魔。
あまり利用したことがないが、景観を損なわない程度に目立たせる
あまり見ない。自然に馴染む感じが良い。
英語表記があると分かりやすい
英語表記、色やサイズ、設置場所
統一感。キャッチーで分かりやすく
多言語対応など分かりやすく。デザイン性の統一感必要。
もう少し分かりやすく（多言語対応、デジタル化）
エリアMAPがあれば十分
意味ない
あまり見ないで人に聞く



現在、公園の入口付近にある案内表示塔は、周辺施設の方向を示す役割であるが、周囲の木々で視界を遮られ、見る場所によっては木と一体化してほとんど目立たず、あることに気付かずに活用されていないのが現状。また、MAPとの位置も離れているため、リニューアルの際には必要性を再検討すると共に、設置をするのであれば、場所やデザイン性（景観や他の案内物などの）を工夫する必要があると感じた。

禁止看板、アナウンス表示看板

肯定的な意見

仕方ない
お知らせには必要。外国の方にも分かりやすく。
いつも見ているので、あまり気にならない

否定的な意見、及び改善案

あまり利用していない(地元なので知っている)
気にしてみたことがない。目に入らなかった(地元だから)
あまりみんな見てないのでは?
ほとんど見ない、特に見ていない、素通りしていた。
あまり見ないで人に聞く
見づらい
知らなかったが、分かりやすくしてほしい
どこまでダメが分かりにくい。代替案の提案があるとよい。
知らなかった。英語表記。
気が付かない。必要な案内なら、デザイン性を統一して分かりやすく。
全体の統一感が必要。キャッチーで分かりやすく
多言語対応など分かりやすく。デザイン性の統一感必要。
字が小さい。多言語対応。デジタル化。
自然に馴染む感じが良い。

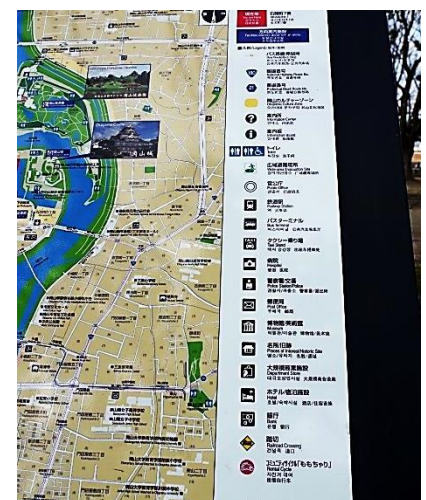


その時に決まった禁止事項を、その都度作ったと思われる、デザイン性に統一感のない看板が公園内に点在。看板を設置した管理者の記載も「岡山市」「岡山市公園緑地管理課」「国土交通省」「岡山市公園協会」など異なり、管理者名が不明のものもある。落書きされているもの、斜めに倒れそうなもの、茂みに隠れて発見しづらいもの、もはや何を書いているか読めないものなども。これは現在「管理」の視点のみで、公園の「運用」「利活用」という視点が不足していることや、きちんとしたルールがないまま、その時々での暫定対応の結果と考えられ、今後パークマネジメントを推進していくうえでは、公園をどのように「運用」「利活用」していくかを整理し、看板などの設置場所やデザイン性も含め、必要な情報が正しくきちんと伝わる方法や仕組みをつくる必要があると感じた。



## 肯定的な意見

あれば見る
使ったことがある
活用した
利用している人をよく見かける
参考になる（現地で確認できる）
街なかに行くところがあるので目指しやすい
特に不便無し
目につく。分かりやすくて良い。
必要
位置の確認で活用する
便利。二次活用。
役に立つ。スマホと併用して活用している
事前に調べた情報と現地での情報を合わせて活用



## 否定的な意見、及び改善案

あまり見ない、ほとんど見ない、特に見ていない
あまり目につかない。気にしていなかった。素通りしていた。
あまり利用していない（地元なので知っている）
あまり見ないで人に聞く
気にしてみたことがない。目に入らなかった（地元だから）
分かりやすいものがあると良い
現在地や方向を分かりやすく
英語表記。方向が分かりやすいと良い
駅から岡山城や後楽園までのルートが色々あることを、もっと分かりやすく案内表示して欲しい
デジタル、多言語対応など、更に分かりやすく。
デジタル化、多言語対応など、リアルタイムな情報が得られると良い
デザイン性の統一感必要。
自然に馴染む感じが良い。

エリア MAP は、多くの方に利用されており、必要なツールであることが分かった。特に観光客は、石山公園に到着すると、まずエリア MAP を見て位置や方向を確認し、目的地（多くは後楽園や岡山城）へ向かっていた。最近の傾向としては、ご自身で事前にインターネットや SNS などで調べた情報と合わせ、現地での生情報として組み合わせて活用している、という方の声が多かった。

また、現在のエリア MSP は平成 26 年 8 月作成のものだが、情報は年々新し更新されていくものなので、リアルタイムの情報の発信や、多国籍の外国人観光客の増加に対応して多言語対応できるエリア情報の発信などを望む声が多く聞かれ、リニューアル後の案内機能には、今必要で知りたいリアルタイムの現地情報を、タッチパネルでより詳しく確認できるなど、デジタル化などでそのニーズに対応することも検討する必要があると感じた。

## その他の意見

デジタル活用 ( QRコード ) ※外国の方も分かりやすい  
案内が少ない ( 英語表記も )  
岡山城から来ている時に看板がない  
トイレの表示が分かりにくい ( 障害者用 )  
カラーコーンや車止め、月見橋は、景観を損ねない素材の方が良い



QRコードの活用は、今後の情報発信を行う上で、現地の看板はもちろん、SNSなどのウェブサイト、チラシやパンフレットなどの紙媒体など、多様な媒体での活用の可能性が考えられることから、使い勝手の良い有効なツールだと考える。

岡山駅から桃太郎通り（路面電車含め）を通過して石山公園に到着した方は、城下電停から石山公園までが坂道になっているため行き止まりにも感じ、分かりやすい案内看板が見当たらないので、岡山城や後楽園に行けるかどうか不安になった、という意見も多く聞かれた。岡山駅から岡山城や後楽園に向かうルートはいくつかあるが、石山公園を起点として向かうルートは、景観を楽しむという、+αの効果を観光客に提供できることから、分かりやすい看板設置や案内ルートの明記、情報発信が必要であると感じた。

トイレは、リニューアルの際に改装される予定だが、現時点でも利用者に対して、最低限の快適さや利用しやすさの提供も必要であると感じる。

現在、護岸工事のために、看板や三角コーン、柵などが設置されているが、せっかくの写真撮影ポイントが損なわれている。期間限定であり、必要な事であり、ある程度は知ってもらうために目立つ必要はあるが、もう少し景観も考慮した色やデザインなどの配慮が望ましいと感じる。

## ⑪ 石山公園周辺に、どのような施設があると良いか

### 案内、インフォメーション

案内所。デジタルサイネージなどの活用。

案内 ( 観光 )

インフォメーション

外国の方への案内板。

案内所 ( 通り道にあると便利 )

こういったインフォメーション ( ニーズ調査の案内ブース ) が常設だとありがたい

前設問⑩のご意見にあるように、石山公園に案内機能は必要である、ということは疑う余地はないであろう。今後は、その機能がどういったものが最適なのかを更に検証し、リニューアル後の石山公園の機能及び、パークマネジメントの推進につなげていく最重要課題であると感じる。

カフェ、飲食提供、食事

ジュースやおみやげを売ってほしい
食事（飲み物）
食事ができる場所
安くて美味しい食べ物屋
お酒が飲めたり、のんびり出来る場所
ビアスタンド、バー、カフェなど、休憩できる場所
Wi-Fiのあるカフェ
お茶が飲める場所
ゆっくり過ごせる店、カフェ。
カフェ。独歩ビールが美味しかったから、ビールが飲める場所。
カフェがあると良い。犬などペットを連れていける場所。
犬と一緒に寄れる店
ワンちゃんを入れる素敵なカフェ
カフェ、安くておしゃれなもの
テイクアウトできる店（手軽に買える）
コーヒーをテイクアウトできる所。
ちょっとした軽食（おにぎり）などを買うことが出来る店
憩いの場をつくるなら、BBQ スポットもあっていいかも（規模によるが無くて全然良い）

石山公園のリニューアルでは、オープンカフェの設置を予定しており、アンケートでも、カフェ（飲食店）の設置を待望する意見が多い。設問⑥で、通り道として利用されている方が多いことが分かり、自身の散歩はもちろん、犬の散歩をされる方も多く見受けられ、そういった、今すでにある地域のニーズである「テイクアウト」「犬と一緒に」などの要望も考慮しながら観光の視点も取り入れ吟味しながら、どのような業態や体制でのカフェを設置するかを検討する必要があると考える。

休憩

ゆっくり落ち着ける場所。
待ち時間を過ごせる場所（屋根あり）、イスがある
ベンチ、屋根がある休憩スペース
ちょっと休めるベンチ。風をしのげる場所。
ひと休みできる場所
休憩できる場所
のんびりできる場所
ゆったりできる施設

現在も、石山公園にはいくつかベンチはあるが、適切な場所に設置されているのか、数は足りているのか、こういった形状のベンチが座りやすいのか、といったことを検討する必要性を感じた。  
また、屋外の魅力である気持ち良さの反面、雨風をしのげる「ちょっとした」場所が欲しい、と望まれるかたの声も多く聞かれたので、カフェやオープンテラスなどがその代替になるのか、または、可動式のような形態が必要なのか、ベンチでなくてもレジャーシートではどうか、など、貸出しの需要や可能性なども含めて検討することが大切だと感じた。

## 買い物

土産屋

岡山のモノが買える場所

コンビニ

観光客の楽しみのひとつである、「地元ならではの」のモノを購入できる場所を求める声も多く聞こえてきた。観光客の欲求として「観る」「食べる」「買う」というものを、石山公園で満たすのか、または、次の回遊ポイントへつなげられるように情報を発信するのか、といった、石山公園に持たせる機能と、周辺エリアにある施設の魅力を伝えて次につなげる機能、それぞれの効果を整理・検討して上手く使い分けることで、エリア全体での相乗効果を生み出せるのが理想的だと感じた。

## 通行の整備

段差はない方がいい（足の悪い方には、スロープより段差の方がいい場合も）

段差無くしてほしい

ランナーのための周回道や自転車も通れる道、バリアフリーに。

## 交通環境

駐車場

路面電車が、もう少し近くまで乗り入れていると良い

## 設備・環境

コンセント

Wi-Fi

禁煙スペース

お年寄りや、子どもと一緒に使えるトイレ（おむつ替え）

トイレをきれいに（おむつ替えが出来るくらいに）

コンセント（充電）やWi-Fiなど、スマホやインターネット環境の整備を望む声に対しては、現代では必要な機能であると考えられる。オープンカフェの設営に関して、そういったサービスを提供できる機能を有したものにするのか、または別の方法で、インターネットに対応できる機能を設けるのか、オープンカフェでのおもてなしや業態を考える上での、重要な検討材料であると感じた。

トイレに関しては、設問②で60代以上の方が全体の38.5%を占めることから分かるように、お年寄りが利用しやすい機能を持たせると共に、身体の不自由な方、小さな子どもも利用しやすいように、洋式便座、手すり、おむつ替えスペースなど、多目的なものが求められる。現在は照明も暗く、あまり清潔感を感じないので、極力利用をさける傾向にあるが、トイレを目的に石山公園を利用する方があってもおかしくないくらい、快適で安心・安全なトイレのリニューアルに期待する。

その他

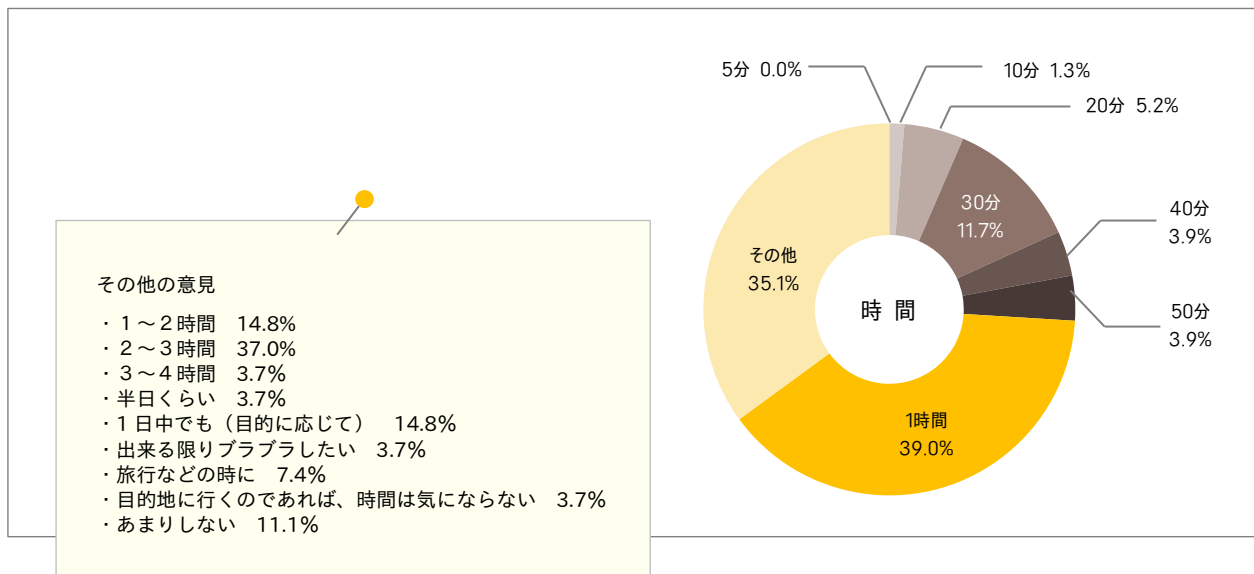
今のままで便利（住むには）
何も無いのも良い
必要ない
今のままで
もっと広くなればいい
スケボーなどができると良い
子どもが遊べる遊具
遊具、少し時間をつぶせるもの
ジャングルジム、迷路
音楽サークル向けのスタジオなど

⑫ 石山公園周辺施設で、訪れてみて良かった（悪かった）施設、またはその理由

後楽園、岡山城	季節の良い時にまた行きたい
	きれいで良かった
	写真を撮るのに良い
	ランニングコースとして最適
	わんちゃんと散歩できるのが良い
	歩きやすい
	普段とは違うイベント（幻想庭園）が楽しめた
	イベントが多い。気持ち良い。
	きれいだけど、PR下手でもったいない。もっと若者に知って欲しい
	こんなもんかなあという印象。建築物を将来にも残して欲しい
	月見橋が汚い。岡山城の木が邪魔（剪定必要）
	岡山城→黒い（印象薄い）、後楽園→良い公園（樹木に名前表示があると楽しめる）
岡山城の見映えが悪い。黒一色が良い。	
図書館	のんびりできる
	長時間ゆっくり家族で楽しめます
カルチャーゾーンの周辺の美術館、文化施設	林原に行ったら休館日だったので残念だった。全部回りたい。
	良い企画展があった（県立美術館）
	岡山らしい雰囲気、格式。正月の天守閣、宇喜多家の博物館があってもいいのに好きな展示の時にいった
内山下小学校	創作活動（WSなど）
	楽しいイベントをしている
表町商店街、天満屋、画材店など	便利（種類も豊富）
西川緑道公園	ランニングコースとして最適
	小さなお店が沢山。地元の人も沢山。
倉敷	写真を撮るのに良い
その他	歩きにくい



⑬ まち歩きを楽しめる時間



⑭ どんなコンテンツ（店舗、施設、イベントなど）があれば、時間が気にならずにまち歩きを楽しめるか

飲食

休憩できる場所（カフェなど）
美味しそうなお店
お店、美味しいもの
カフェ、喫茶店、ご飯屋さん
バー
ランチができる場所が増えると嬉しい
岡山の名物が食べられる場所
モーニングコーヒーが飲める
コーヒーが飲める場所
カフェと自然があれば、それで良い
河原をきれいに。河原でランチが出来るように。
お茶出来る（気軽に）、一人でゆっくりできるカフェ
休憩できる店（飲食店）
ご飯を食べられるところ。散歩してご飯を食べられるコースがあると良い。
好きなお店（パン）やカフェ
のんびりできるカフェ
茶屋はあっても良い
お茶、食事（お気に入りのお店があればうれしい）

## 休憩

### ベンチ

西川のように、休憩できるスポットがあるといい

のんびり休憩できる場所

(手入れされた)自然を楽しめる場所

屋根もあって休憩できるコンパクトなスペース(ビューポイントであれば尚良い)

ちょっと腰を下ろして休憩、お茶ができる場所

景観を楽しめるような施設、店舗(市民会館に近いので、そこに来た時にまったりできる)

## 買い物

買い物(服とか)などウインドーショッピングできる場所。出石あたりが参道になれば。

雑貨・子ども服など買い物できる店

普段の買い物が出来る場所

## 通行の整備・交通環境

雨の日にも歩きやすい道

段差が少ないと良い

ウォーキングや自転車に乗っていても楽しめるようなもの

路面電車が環状になっていると、まち歩きと合わせて楽しめる

## 設備・環境

きれいなトイレ

喫煙所

撮影スポットになるような自然がある(手入れをしてほしい)

## 情報

まち歩きを楽しめるモデルルートなどが知りたい

インフォメーション

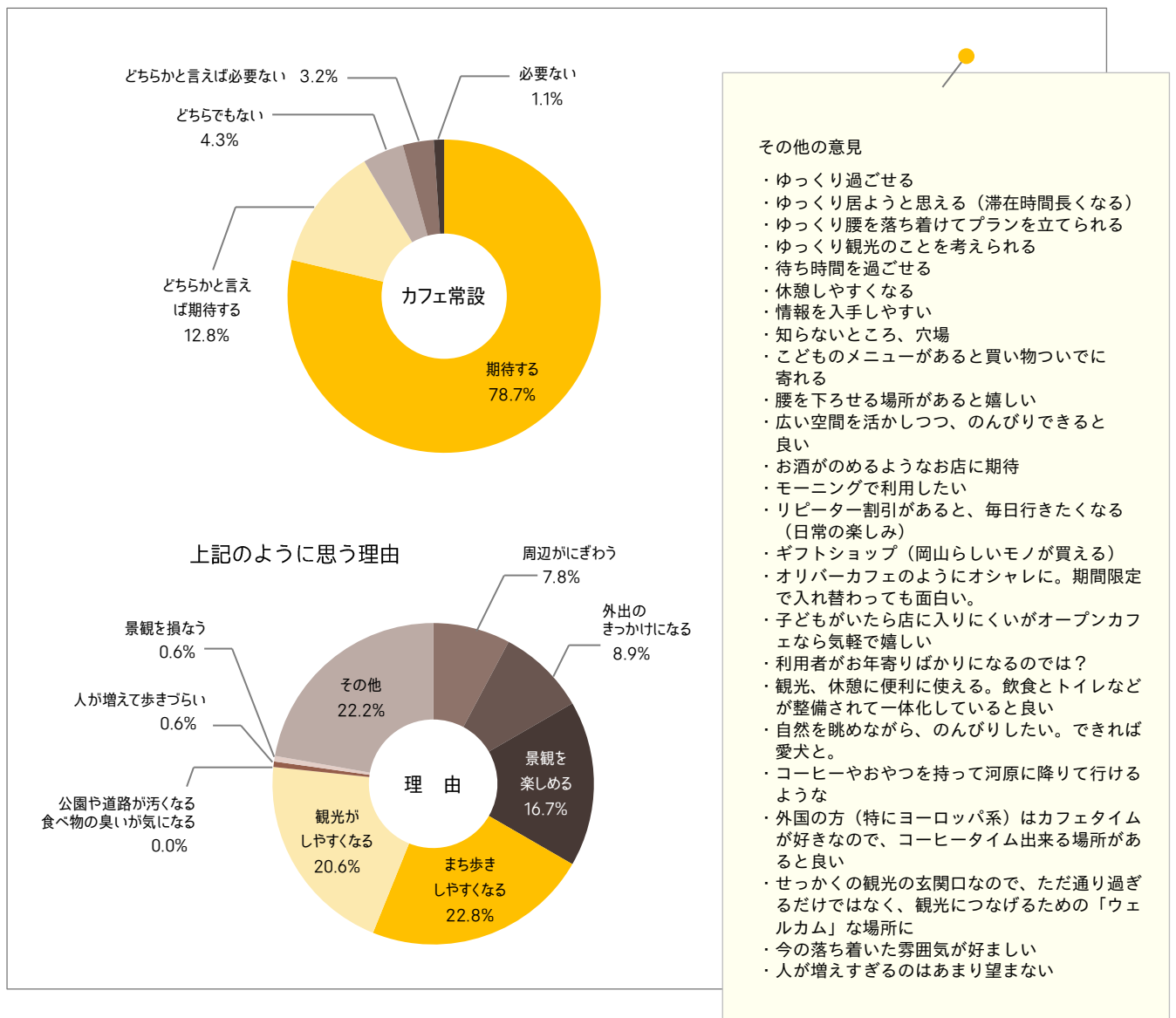
情報(より詳しいモノ)

歴史的な案内板

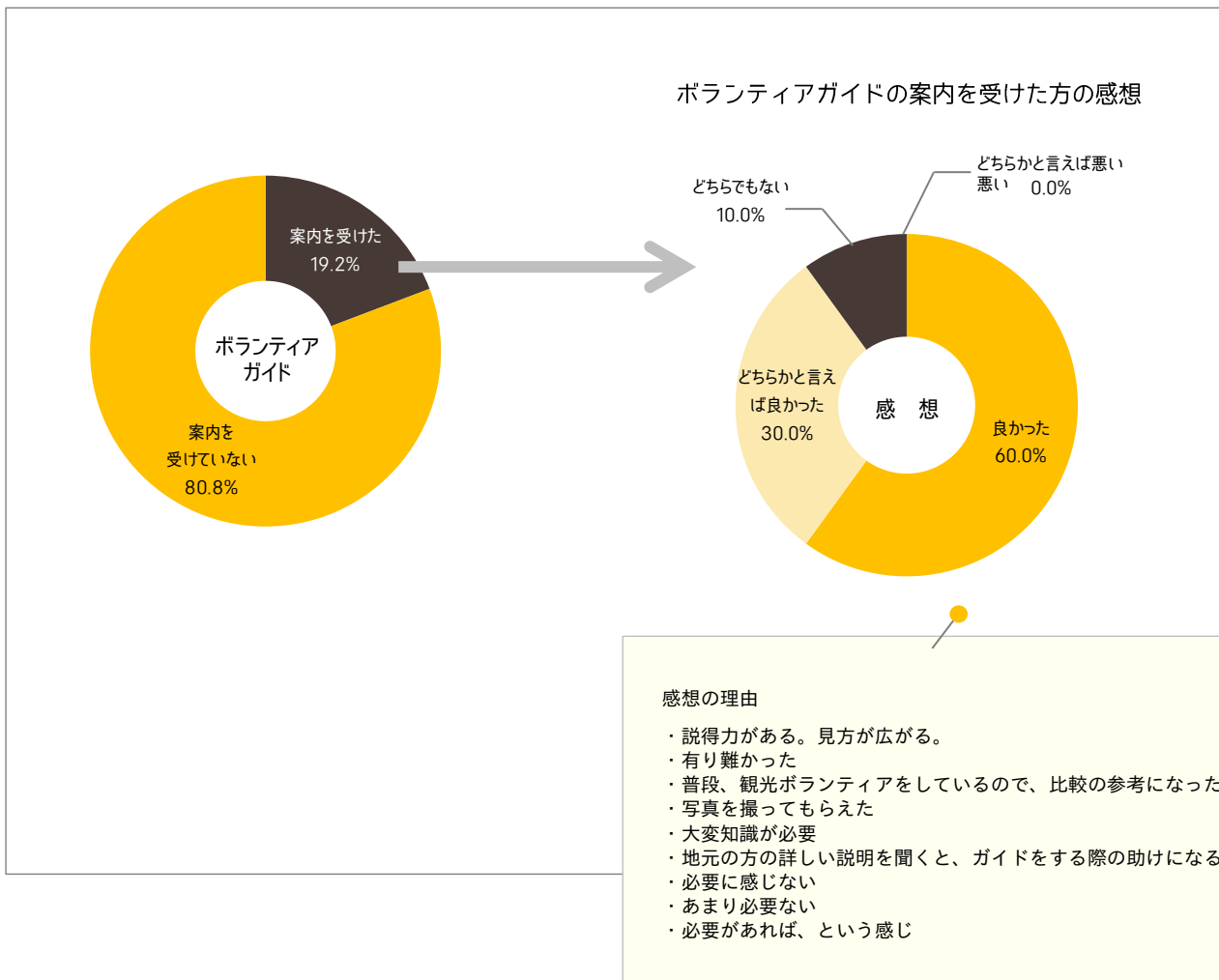
その他

「観る」「買う」「食べる」の3つがあると、より観光を楽しめる
観光地が乏しい
毎週何かやっている場所として認識される→若者が「遊び」感覚で来られる
毎週日曜日に音楽イベントなど
孫が楽しめるようなもの。ちょっとした催しがあれば。バルーンアートなど。
動物、生き物、自然のもの(こどもが立ち止れる)
紙芝居(歴史)、周りきれなかったらまた来ようと思う
自転車で観光地を走るのが楽しい
歴史
本
仕事の合間に少し歩く程度なので、特になし
目的の場所に行くために歩く

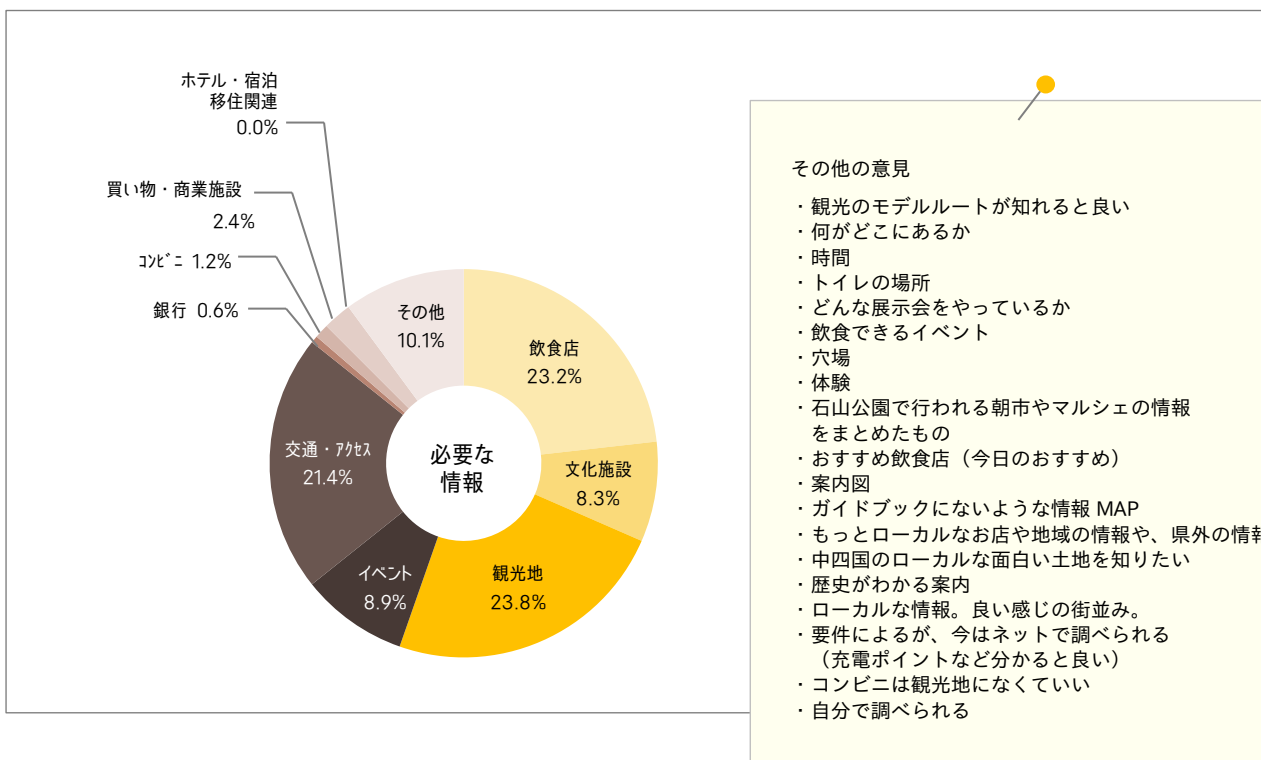
⑮ 将来的に、石山公園にオープンカフェを常設し、簡単な観光案内を行うことについて



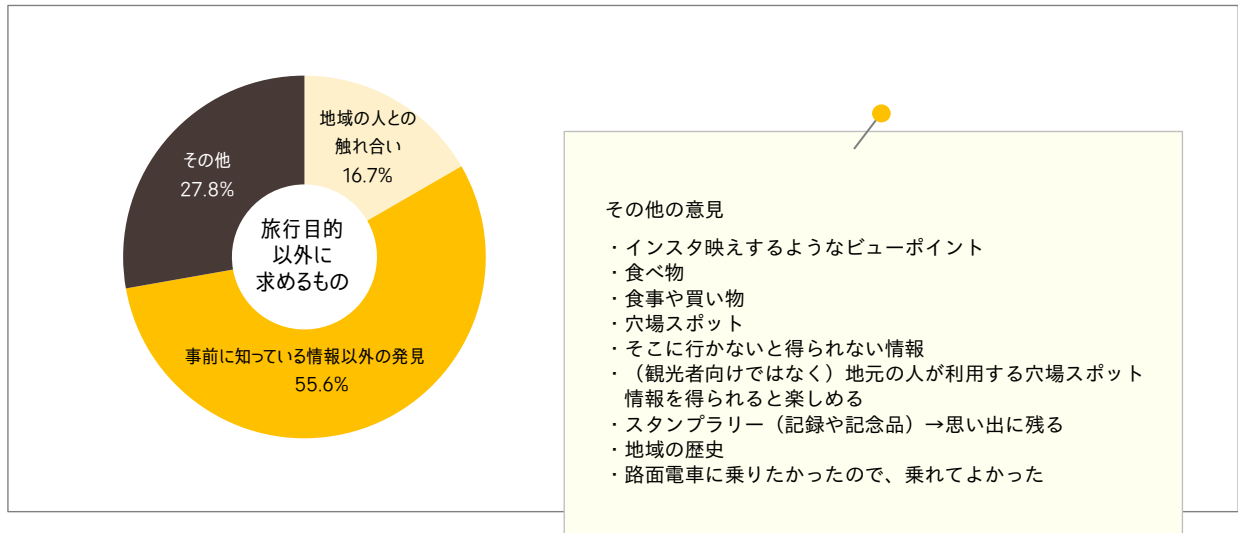
⑩ ボランティアガイドによる案内について



⑪ 観光客（旅行者）として、どんな情報が得られると良いか



⑱ 観光客（旅行者）として、旅行の目的以外で求めるものは



⑲ 将来的な、理想の石山公園について（どんな場所になると良いか）

景観・自然を生かした場所

マチナカに自然が残っているところが良い。
雰囲気を変えずに自然を活かすこと
自然がいい
あまり変えず、景観を損なわないように
あまり都会的にならず、自然いっぱいのもままであってほしい
田舎の良さもあるが、もう少し手入れは必要。緑は街なかに必要な。
街なかは疲れるから、ここでのんびりと時間を過ごしたい。
景観を楽しめる、今とあまり変わらずのんびり出来る場所
きれいでゆっくり出来て良い場所。この雰囲気を壊さず、観光をスムーズに楽しめる案内やカフェが出来ると良い。
今の景観を残しながら、ゆっくり休憩できると良い
今のままの緑や景観は残してほしい
自然を残しつつ、歩きやすく、休憩しやすい場所
今のまま静かで落ち着いている空間が好き。
このままが良い
今のままで良いのでは？街の中に自然があつてのんびり出来る場所が良い
今の静かでのんびりした雰囲気を残しながら、ベンチやカフェでゆっくり出来るとよい。
今の環境をあまり変えず、トイレが綺麗になったり、歩きやすく整備されるとよい。
今の景観を生かして、利用しやすい場所に。カフェなどが出来るのは良い。
景観が良くすごく良い場所。使う方にとって、気持ちよく使える設備、施設があると良い。

カフェ、休憩など、ゆっくりできる場所

テイクアウトができるカフェがあると良い。
カフェ（入りやすい）。自然も残して。
カフェやベンチがあり、分かりやすい（外国の方も使いやすい）看板や案内があるとよい（多言語対応）
カフェやベンチがあって、ゆっくり出来る場所。
お茶が飲めて、のんびり出来る場所。高齢者なので、公園にのんびり出来る場所があると、外出するきっかけになる。
落ち着ける場所、落ち着いた場所
地元の人、観光の人にも便利に利用でき、ゆっくりできる場所
気軽に利用できる場所
屋根があり、雨風がしのげて休憩できる場所
地域の人憩いの場
静かでゆっくりできる場所
空き時間に利用できる場所
解放感もあり、雨風しのげる屋根もあり、ちょっと座れる。
1人でもゆっくりくつろげる場所
少しのんびり出来る場所
過ごしやすい場所

にぎわいが生まれる場所

若い人や、地元の人との交流の場があれば、そのきっかけで更に楽しめる
イベントがあると来るきっかけになる
にぎやかなまちの拠点
人が集うような、気持ちの良い場所に。
イベントが楽しめるが良い。地域の憩いの場。
もっとマルシェとかやって欲しい。賑やかに。
お盆夜市などのイベントも楽しめる場所。
たまにイベントがあると楽しめる
音楽イベントなどがあっても良いのでは
無料で子どもが楽しめる場所。市民会館のイベント開場までの時間つぶしができる。
子どもが安全で楽しく遊べる場所（段差がない、川沿いの策が安全）
色々な年代の人が集える場所

歩きやすさ、通りやすさ

荷物が持ち運びやすい（通りやすい）道、見晴し（景観）を生かして
バリアフリー
芝生ばかりだと汚れるイメージ（雨上がり、虫）があるが、段差をなくして、通りやすい道ができれば（全体のバランス）良いと思う。
公園内の段差が煩わしい。公園内を自転車で通れるようにしてほしい。
足の悪い人が歩きやすいように、フラットに（段差をなくす）。手すりも所々があると歩きやすい。

## 観光、情報

インフォメーション機能があるとよい。「観る」「買う」「食べる」の3つがあると、観光客の満足度がアップすると思う。

色々な観光施設のアクセス拠点になれば

情報を入手できる場所があれば

観光案内があると嬉しい

公園を中心にした MAP ( カフェやみどころ ) が欲しい

観光の玄関口という場の特徴を踏まえた場づくり

## 交通の便

子ども連れだと、車で移動できると良い。駐車場は城下 ( トンネル少し怖かった )。コンパクトに用事をすませられると良い。

近所に車を止められると来やすい

駐車場が近くにあるとよい ( 後楽園の駐車場は遠い )

駐車場がもっとあれば、運転も安心できる

駅からくるのが分かりやすいと良い ( 情報を色々な所で得られるように )。路面電車の中でも情報が得られると良い。姫路は観光のルートバスが 300 円で乗り放題で便利。

## 設備環境

トイレの前にベンチがあると良い。トイレをもっと機能的に。

トイレをきれいに。屋根のある場所がもう少しあると良い。

トイレは使いやすくきれいに。

雨風がしのげるコンパクトなテーブルとイスなどがあると利用しやすい。

雨風がしのげるものがあるとよい

草木の剪定や植木の茂みの整備 ( セキュリティ )

分煙して欲しい

噴水から水を出して欲しい。

もっと広くなれば。ベンチが沢山あればよい。

その他

エリア全体のビジョンを明確にしたうえで、まちづくりを考えて欲しい。その中で、石山公園がどんな場所になったら良いかを考えた公園づくりを希望します。

旧内山下小学校(母校)に久しぶりに行き、ついでに後楽園や岡山城も楽しんできた。エリアを楽しむ起点になればよい

公園、周辺施設、まちに対して思うことは色々あるが、伝える場所、受け皿がない。

レンタルサイクルでぐるっと回れるようにしたい

マーケットや市民会館での催しがない時は人が通るだけで面白くない。

花が少ない

外国の方が挨拶して感じよい。

イベントは21時までに終わって欲しい(音)。年配なので、生活のペースが狂うと眠れなくなる。

遺産として、格式の在る場所

今の公園に満足している。不便にならないで欲しい。

おしゃれな感じになれば

歩くのには最適な場所だと思う



# イベント実施者 ヒアリング

# イベント実施者ヒアリング

石山公園では現在、イベントを実施する際の使い辛さなどが指摘されています。

そこで、実際に石山公園を活用してイベント等を実施された実績のある個人、企業、団体の方から、経験を踏まえたご意見をお伺いし、イベント利用時に場を上手に活用するためのノウハウや知識をご提供いただくことで、現状の課題をより深く掘り下げて明らかにし、今後の石山公園の在り方や、パークマネジメントの仕組みづくりに繋げていくことを目的に実施しました。

## ■ヒアリング協力者：

- ・ MAEMU 企画 / おひさまアートバザール
- ・ ストライプインターナショナル / ストライプマルシェ
- ・ 株式会社ビザビ / 朝ごはんマルシェ
- ・ 公共事業に関わる一個人（行政観光系） / ゴールデン夜市、才盆夜市、他
- ・ 公共事業に関わる一個人（民間事業者） / ゴールデン夜市、才盆夜市、他



## 1) MAEMU 企画

### 1) 石山公園でどのような事業を実施したいか

「おひさまアートバザール」を実施してきた経緯

- ・ アートや作家のサポート、ギャラリー情報の発信の場 → 作家のアピールの場  
( 10 年ほど前、5 人体制でスタート )
- ・ 当初は、出石小学校の場を活用  
↓  
街歩き WS  
↓  
石山公園 ( 作家と買い手のコミュニケーションの場 )
- ・ マンネリ化の問題、モチベーション維持
- ・ 時代の変化と共に、役割を終えた感覚
  
- ・ 客として参加するなら、夜の飲食イベント

### 2) どのような環境設備が整っていれば、事業を実施しやすいか

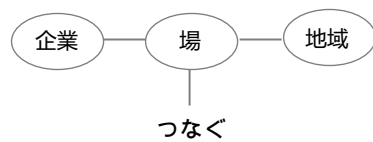
- ・ 許可手続きを簡潔に ( 一元化 )
- ・ 電力 ( 電源 ) の確保
- ・ 搬出入、駐車スペース
- ・ テントの設営のしやすさ  
( 常備されているテントがあると良い )  
※有料貸出でも OK
- ・ イスやテーブル  
※公園備品として利用できるものがあると良い
- ・ 管理者の対応時間が、土日・平日問わず同じ時間帯で対応してもらえると良い
- ・ 観光のインフォメーション ( 特に食 )

### 3) その他

- ・ 伝える ( 経済効果、宣伝効果 )
  - ネット ( SNS )
  - 現場

□ ロケーション  
新鮮味 → ずっと続ける → 続けることで新しい良さが生まれる  
日常

- ・ 場をどう使っていくか ( 続くしくみ )



## 2) ストライプインターナショナル

### 1) 石山公園でどのような事業を実施したいか

実施イベント：ストライブマルシェ

※回遊性の向上（芸術交流や街の拠点）

- ・ 石山公園は、公園のロケーション、ポテンシャルが高いので良い
- ・ 商店街は、軒先に出店する為気を遣う
- ・ 新しいコンテンツにチャレンジしたい  
（ランドマークとして）
- ・ オープンカフェには興味あり
- ・ 人が体験できるもの（WS など）

### 2) どのような環境設備が整っていれば、事業を実施しやすいか

- ・ 電力 → 30～50kW 程度必要  
※15～20 店舗出店の場合
- ・ 駐車場の確保（来場者、出店者ともに）
- ・ インフラ整備
- ・ コンシェルジュの役割をする人が場にいることは重要

### 3) その他

・石山公園の理想像 → 地域にとっての場

\* 観光の視点は「狙う」というより、おのずと必要である

\* 地域の人の顔、岡山の特徴が見える場に

### 3) 株式会社ビザビ

#### 1) 石山公園でどのような事業を実施したいか

実施イベント：朝ごはんマルシェ、ダイハツ企画

- ・ 朝に実施するイベントは良い
- ・ 水辺に近い場所でもイベントが出来れば（提案の切り口）
- ・ アルコールの提供は、安全性を確保して出来れば良い

◎あしたり岡山（NPO）

↓

地域との関わりが強い ※企業（ビザビ）としては、地域との関わりが弱くなってきている

- ・ 歴史探訪
- ・ MAP づくり
- ・ 県庁通りの鉢植え
- ・ 岡山弁講座
- ・ 古墳ツアー

#### 2) どのような環境設備が整っていれば、事業を実施しやすいか

- ・ 安全対策（川沿いの柵）  
※ロケーションが岡山市内で一番良いので、景観を楽しんでもらいたい（食と一緒に）
- ・ 搬出入のしやすさ（道幅の狭さ解消） ※2台がすれ違えるくらいに
- ・ テントは常備（デザイン性、風対策考慮） ※有料で利用者に貸出できるように
- ・ 設営しやすいように、事前に足場を作っておく
- ・ 電力 → 30～50kW 程度必要  
※ももたろう祭りの時は 60kW 必要  
※電源 BOX を何か所かに分けて使いやすく
- ・ ベンチ ※移動できるもの
- ・ ゴミ処理
- ・ フラットで歩きやすい場所

#### 3) その他

- ・ 通過点としての場所
- ・ 写真を撮る場所（最高のビューポイント） 「いい場所じゃん！」←発見

石山公園は、市民にとって岡山の誇るべき場所として、  
市民の顔が見えるようなランドマークのような場所で在るのが理想

- ・ 周遊を促す案内（サイン関係）は必要
- ・ 地域のインフォメーション機能  
「どんなマチにしたいか」というビジョンを共有できることが重要！

<パークマネジメント>

- ・ 申請手続きのしやすさ（一元化）
- ・ 一般の人が利用しやすいシステム
- ・ 人がいることで、対応窓口 ※コンシェルジュ機能

日常のまち



人や営みを充実させる

#### 4) 公共事業に関わる一個人 (行政観光系)

##### 1) 石山公園でどのような事業を実施したいか

- ・ 都市公園→憩い
  - ・ 観光→賑わい
- } どちらを目指すのか

- ・ 市民が活用して生まれる賑わい ← こっち!
- ・ 外付けで「観光の施設を置く」ことのできる賑わい

\* 非日常の「賑わい」をどう演出するか

\* 観光へのアプローチ (マネジメント) は必要だが、「観光の場」にする必要はないのでは?

\* 日常の産業 (営み) が生まれる場所

市民・民間の事業者がやりたいことをサポートするのが行政の仕事

★重要! まずは「場のブランディング」

##### 2) どのような環境設備が整っていれば、事業を実施しやすいか

- ・ 許可手続きの手間を最小限に  
(河川事務所、公園協会、地域整備課、警察)

- ・ 電力 → 30kW × 2か所 (最大60kWくらい)

- ・ トイレ → 管理問題をどうするか課題 (カフェと別か、一体にするか)

<周辺>

今不足している観光の視点

- ・ 駐車場 → 岡山城に行きやすくするには
- ・ 土産物 → 外貨を稼ぐ手段
- ・ 案内 → 多言語対応など

##### 3) その他

◎パークマネジメントについて

- ・ 旗振り役が必要 → 方針を明確に

↓

ここに向かっていくぞ!

※色んな意見を参考にするのは重要だが

- ・ 使う人の意識、場、それぞれを育てていくことが重要

## 5) 公共事業に関わる一個人(民間事業者)

### 1) 石山公園でどのような事業を実施したいか

- ・ 協賛事業 → 民間事業者がやりにくい  
(民間活力を有効活用するなら)
- ・ NPO と関わることで、緩衝材となり、出店もセレクト感を出せる  
※行政との直接のやり取りだと、しがらみが出やすい
- ・ イベントがスケジュール化(パターン化)されてきたときの  
バランス調整が重要  
↓  
それが公園

色んなテイスト  
色んなカテゴリー

### 2) どのような環境設備が整っていれば、事業を実施しやすいか

- ・ 申請手続きを簡単に → プロセス分かりやすく  
※次の手続きに導いてくれる
- ・ (テントなどを) 設営しやすい設計  
(地面に固定できる装置を常設)  
※ハードの維持 → フォーマット作成  
↓  
イベント用の設営セットを作る  
※景観、強度を踏まえ、安く貸出し可能に

### 3) その他

今後、石山公園を開かれた場所にするのであれば、フォーマットが必要。  
※どういう人に開かれた公園にするのか

- ・ 石山公園は「ゲート」
- ・ インフォメーションの課題  
→ 観光ボランティアとの関わり  
→ どう伝えるか

# 意見交換会



# 意見交換会

9月～11月のニーズ調査実施期間中、カルチャーゾーン連絡協議会参加の13の施設から、期間中に予定されている展示やイベントなどのチラシや施設のパンフレットなどを提供いただき、石山公園に設置した案内ブースにて観光客や地域の方などに情報発信を行った。



- 意見交換会実施日：12/13（水）15:00～（カルチャーゾーン連絡協議会会議参加 @岡山城会議室）
- 情報提供の協力：県立博物館、県立美術館、県立図書館、後樂園、岡山城、夢二郷土美術館、林原美術館、オリेंट美術館、天神山文化プラザ、シンフォニーホール、ルネスホール、市民会館、岡山映像ライブラリーセンター

議題：石山公園（回遊の起点）と、各施設との連動（情報の扱い方）について

## 1) 出石からの回遊性の創出

- ・車の方は、後樂園を起点としたルート
- ・歩きの方は、鶴見橋を起点としたルート
- ※目的地以外の場所への動機づけと、回遊ルートの提案などがカギ

## 2) 情報発信の方法

- ・デジタル（多言語）対応
- ・地図（文化施設など）などの連携、連動
- ※各文化施設で制作している、展示やイベント情報の紙媒体は、すべてを集めると膨大な量になる。それらの情報を上手く発信するには、紙媒体以外に、メディアを活用した発信が有効。各施設独自の情報をひとつにまとめて発信し、受け手が欲しい情報をピックアップしやすくする工夫が必要

## 3) 観光客への対応

- ・短いスパンでの情報発信
- ※観光客が現地が必要としている情報は、「今日、明日」のような、短いスパンでのリアルタイムの情報。滞在期間中に、観光客のスケジュールに上手く「新規追加」で予定を組み込めるよう、「今、何をやっているか」という情報を発信する必要がある。

## 4) 常設での情報発信場所

出石の観光案内所が閉鎖したため、現在はカルチャーゾーン内に観光案内所と呼べる施設はない。常設でパンフレットやチラシを設置できる場所があれば、現地での情報発信がしやすくなるとともに、各施設も配布計画を立てやすくなる。（紙媒体の情報の受発信もしやすくなる）